

時 期 視 点	幼児期後期（年長児 10月～3月） 人間関係が深まり、学び合いが可能となる時期	小学校入門期（1年生 4月～5月） 新しい人間関係の中で「自覚的な学び」が可能な時期
ものとのかかわり  【身の回りのものとのかかわり】  【自然環境とのかかわり】	<p><b>元気な子ども</b></p> <p>1 トイレにはある程度決められた時に行くことを知る。 2 手洗いの大切さを知るとともに正しい手の洗い方を学ぶ。 28-1 安全に気をつけて遊具（なわとび、そり等）で遊ぼうとする。</p> <p><b>やさしい子ども</b></p> <p>5 自分の持ち物を大切にしようとする。 9 物語性のある本に関心を持ち、聞いたり読んでみたりする。</p> <p><b>考える子ども</b></p> <p>3 身支度や片付けなどが手際よくできるようになる。 4 食事の準備や片付けを速やかに行うことができる。 6 のりやセロハンテープ、ボンド、はさみなどの工作用具の扱いに慣れ、用途に合わせた使い方をする。 7 身近にある様々な材料や素材を使い、試したり工夫したりしながら作る。 8 直接自然物や具体物にかかわり、その物の特徴を感じ取ったり量的感覚を言葉にしたりする中で、文字や数量に関心をもつ。</p>	<p><b>元気な子ども</b></p> <p>10 昇降口や水飲み場・トイレを正しく使うことができる。 22 固定遊具で安全に遊ぶことができる。</p> <p><b>やさしい子ども</b></p> <p>15 自分の持ち物を大事に扱うことができる。 61 動植物のお世話をすることができる。</p> <p><b>考える子ども</b></p> <p>11 名札をつけたり外したりすることができる。 12 身の回り（机の中の引き出し、棚、フック）の生活用品の整理整頓ができる。 13 体操着、給食着を着たりたたんだり片付けたりできる（徐々に着替えの時間を短縮していく）。 14 給食準備や後片付けができる（盛り付け・配膳など）。 16 時間割に従って学習用具を揃えることができる。 17 登校したら一日の学習に必要な物の準備をすることができる。（鞆から道具を机の中に入れる。連絡帳や宿題を出す）。 18 学習で使ったものを自分で整理し、保管することができる。 20 具体操作や念頭操作により、10までの数の大小や順序を理解することができる。 21 ひらがなの読み書きができ、自分で本を選んで読もうとする。</p>
人とのかかわり  【自分とのかかわり】 ・自己表現 ・自制心  【他の人とのかかわり】 ・グループ行動 ・集団行動	<p><b>元気な子ども</b></p> <p>23 早寝早起きが大事であることを知る。 24 ある程度決められた時間内で食事を済ませることができる。 25 先生や友だちと顔を合わせて挨拶し合ったり、呼ばれたら返事をしたりする。 28 安全に気をつけて活動する。 29 安全に気をつけて道路を歩こうとする。 35 体を存分に動かす遊びに関心を持ち、繰り返し取り組む。 39 ルールのある集団ゲームを楽しむ（助け鬼やドッジボール、サッカーなど） 42 難しいと思ったこともすぐに投げ出さずに取り組もうとする。 43 クラス全体での活動をみんなで楽しむ。</p> <p><b>やさしい子ども</b></p> <p>31 相手の思いを聞きながら、自分の気持ちを伝えようとする。 32 友だちとのかかわりが深まる中で、自分の思いや考えを發揮し、友だちに認められることを喜ぶ。 33 お互いのやっていることに関心を向け、情報を伝え合う。 34 内容に応じた会話を友だちとしながら、自分とは別の考えがあることに気づき、受け入れていく。 36 役割を担って、自分たちで遊びや生活を進めていくことを喜ぶ。 41 自分が経験した思いを友だちの思いと重ね合わせ励まそうとする。</p> <p><b>考える子ども</b></p> <p>26 自分たちでルールを作り、継続して遊ぶ。 27 一日の生活に見通しを持ち、状況を捉えて行動する。 30 自分の思い通りにならない状況があることが分かり、自分はどうしたらよいか考え気持ちを調整しようとする。 37 今までの生活経験から様々な場面での約束を守って過ごそうとする。 38 今まで経験した遊びや生活を自分たちで進めていこうとする。 40 状況に応じて、自分にできることはどんなことかを考え、やってみる。 44 クラスのみんなと一緒に先生や友だちの話を聞いたり、自分の経験したことや考えたことを話したりする。 45 自分の経験したことやイメージしたことを絵に描いたり、粘土などさまざまな素材で表現したりする。</p>	<p><b>元気な子ども</b></p> <p>46 早寝早起きができる習慣が身についている。 47 食事をするときには、おかずや汁ものなどを好き嫌いなく食べようとする。 48 よく噛んで時間内に残さず食べようとする。 54 交通ルール・通学路を覚え、安全に登下校ができる。 62 ルールを守って元気いっぱい活動することができる。</p> <p><b>やさしい子ども</b></p> <p>49 校内で出会った人（教師、友だちやお客様等）に対し、時と場に応じた挨拶ができる。 52 当番活動や係の仕事に主体的に取り組むことができる。 55 「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言うことができる。 60 みんなと合わせることの楽しさを感じながら、聴いたり歌ったりすることができる。 63 友だちの気持ちを考えながら、自分の思いを伝えたり活動を楽しんだりすることができる。</p> <p><b>考える子ども</b></p> <p>19 学習や活動の切り替えができる。 50 自己紹介ができる（クラスで・学年で・上学年に）。 51 自分の席が分かり、自分で整列することができる。 53 一日の生活の流れを理解して行動できる。 56 自分の意思をはっきりと先生や友達に伝えることができる。 57 職員室、保健室、校長室、他の教室などへの出入りの仕方が分かり、相手に用事を伝えることができる。 58 学習や生活のルールを理解して友だちと一緒に学んだり遊んだりすることができる。 59 先生や友だちの話を最後まで静かに聞くことができる。 64 のびのびと絵を描いたり、材料を工夫して作ったりすることができる。 65 伝えたいことを言葉や体で表現することができる。</p>
指導上の留意点  【指導場面での配慮事項】  【指導計画作成時の配慮事項】	<p>① 指導者は、友だち同士で自主的に目標をもてるように子どもの仲間関係を見守ったり、自分も共に考える仲間となったりする。</p> <p>② 仲間関係やクラスへの帰属意識を把握し、グループやクラスのみならず達成感をもってやり遂げる活動を計画的に方向付けていく。⇒教師の方向付けた課題に主体的にとりくめるような工夫をする。</p> <p>③ 課題を自分のこととして受け止め、相談したり互いの考えに折り合いをつけたりする過程での葛藤場面を仲間の育ちの機会と捉え、時間をかけ、変容を見守る。</p> <p>④ ものとのかかわりにおいては、発達の個人差を十分配慮しつつ、生活の中で感得した法則性、言葉や文字、数量的な関係などを組み合わせて課題を解決していくよう励まし、自信をもたせていく。</p>	<p>⑤ 多数の園から入学してくるので、それぞれの園の実態を十分把握する。（各園の指導の状況、子どもの発達や学びの状況）</p> <p>⑥ 新しい人間関係の中での仲間作りを意識しながら、教師も共に活動する。</p> <p>⑦ 45分の授業時間の中にいくつかの活動を取り入れて活動にメリハリをつけたり、20分や15分程度のモジュールで時間割を構成したりするなど、1単位時間の構成を工夫する。</p> <p>⑧ 幼児の思いや考えから、豊かな学び・価値ある学びを生み出していくことを中心に展開していく、幼児期の教育の方法を取り入れていく。</p>

